

新スプライン スライダタイプ インタミディエイト シャフト

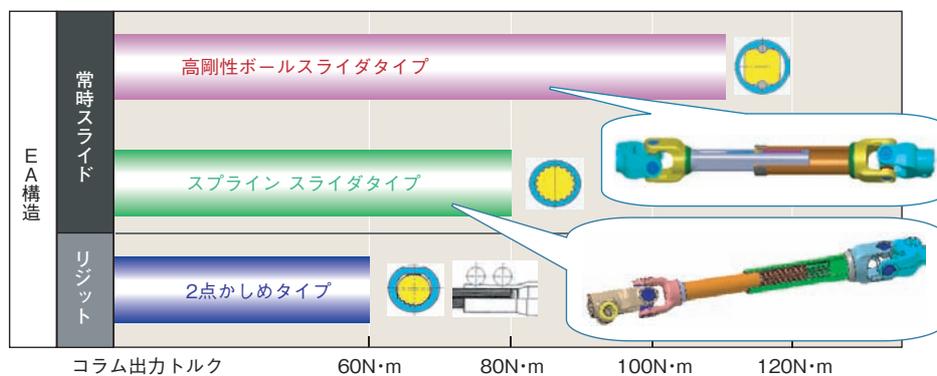
New Spline Slider Type Intermediate Shaft



小・中型車用常時スライド インタミディエイト シャフトとして、静粛性と操縦安定性の向上のニーズに対応したスプライン スライダタイプ インタミディエイト シャフトを開発したので紹介する。

ラインアップ

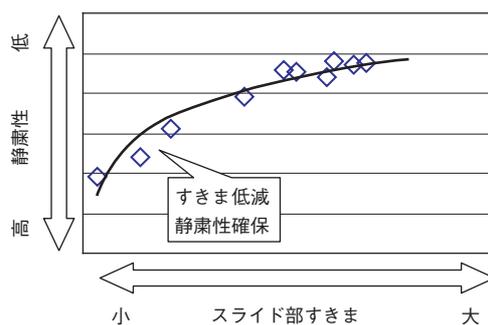
当社では3種類のインタミディエイト シャフトをラインアップしている。



特長

今回開発したスプライン構造のスライダタイプは、従来品に比べて下記特長を有する。

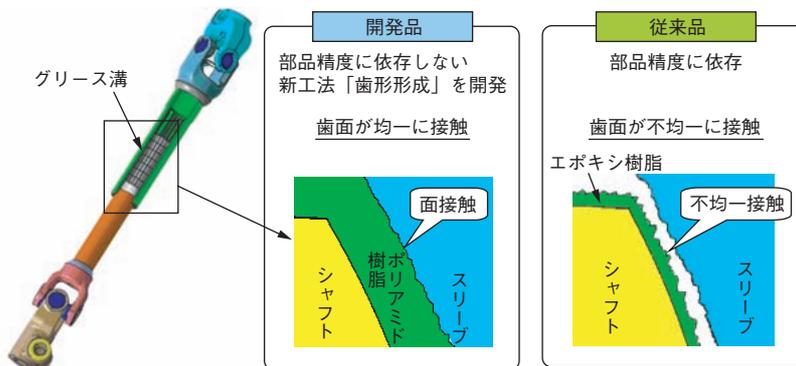
- 1) 静粛性向上 : 新工法の「歯形形成」により、シャフトとスリーブの歯面形状を一致させた（世界初）
これによりすきまが低減され、悪路でも静粛性を確保（従来品は部品精度に依存）



- 2) 操縦安定性向上 : すきまの低減により、ねじり剛性向上 (図1)
- 3) しゅう動性向上 : 低摩擦グリースとグリース溝により、トルク負荷に伴うしゅう動荷重増加の感度を低減 (図2)
- 4) 耐摩耗性向上 : 「歯形形成」により、シャフトとスリーブの歯面形状を一致させることで面圧を低減

株式会社ジェイテクト

構造



性能

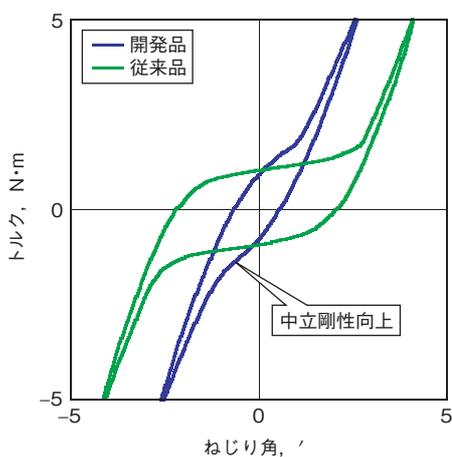


図1 ねじり剛性

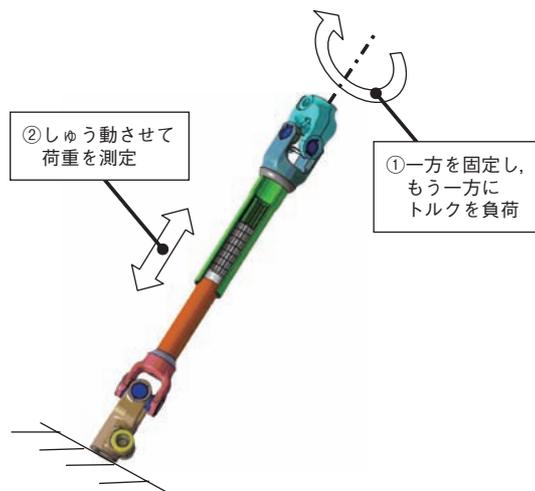
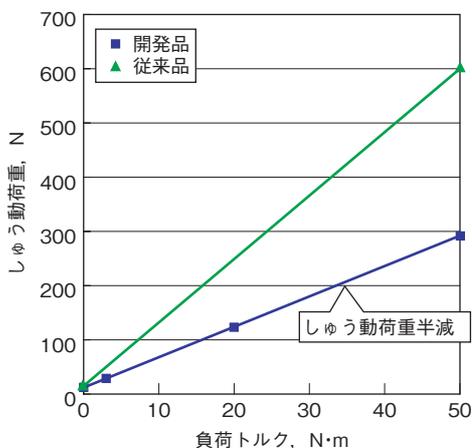


図2 負荷トルクーしゅう動荷重

(ステアリング事業本部 要素開発部)

株式会社ジェイテクト

シャシー